

開設講習名	【選択必修】学校を巡る近年の状況の変化と諸課題		講 師	長友 義彦	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開 設 日	平成 29 年 6 月 24 日		時間数	6 時間	受講予定人数 40 人
受講者募集期間	平成 29 年 4 月 7 日～平成 29 年 4 月 15 日		履修認定時期	平成 29 年 8 月 10 日まで	
主な受講対象者	全教員				
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
取り扱う事項	学校を巡る近年の状況の変化				
【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中教審答申等に基づいた今後の教育の在り方や統計等から読み取れる学校を巡る状況について理解し、概要を説明することができる。 ・ 学校を巡る状況を踏まえ、教育現場の課題について議論し、課題解決に向けた取組について提案することができる。 					
【講習の概要】 <p>本講習では、まず、平成 27 年 12 月 21 日に中央教育審議会から答申された「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)(中教審 186 号)」「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～(答申)(中教審第 184 号)」「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)(中教審第 185 号)」や平成 28 年 12 月 21 日に同じく中央教育審議会から答申された「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)(中教審第 197 号)」等の今後の教育の在り方を示す報告書や各種報道等を概観し、これからの教育行政の方向性について検討する。</p> <p>次に、学校を巡る近年の状況の変化について、文部科学省が示している「学校統計」「学力・体力」「生徒指導・進路」「教員」「国際化」「情報化」等について統計資料をもとに議論し認識を深める。</p> <p>これらを踏まえ、社会の変化、子供たちをとりまく環境の変化等について、教育専門家としてどのように認識し、求められる教育の在り方に向けてどのような現実的な課題に直面しているか、また課題解決のためにどのような取組が考えられるか、どのように取り組むかについてグループで議論していく。</p>					
【評価の方法・評価基準】 <p>評価の方法：筆記試験</p> <p>評価基準：合 格：講義の内容の基礎的な部分を理解し、説明できる。</p> <p>不合格：上記以外</p>					
【テキスト・参考文献】 <p>事前にテキスト(資料)を配布予定。</p>					
【受講者への伝達事項】 <p>特になし</p>					